

<b>Course number</b>	U-LAS70 10001 SJ50				
<b>Course title (and course title in English)</b>	ILASセミナー：研究思考による課題解決 ILAS Seminar: Problem solving through research mind	<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Graduate School of Agriculture Professor, Sasaki Tsutomu		
<b>Group</b>	Seminars in Liberal Arts and Sciences	<b>Number of credits</b>	2	<b>Number of weekly time blocks</b>	1
<b>Class style</b>	seminar (Face-to-face course)	<b>Year/semesters</b>	2024・First semester	<b>Quota (Freshman)</b>	10 (10)
<b>Target year</b>	1st year students	<b>Eligible students</b>	For all majors	<b>Days and periods</b>	Tue.5
<b>Classroom</b>	(North Campus)			<b>Language of instruction</b>	Japanese
<b>Keyword</b>	コミュニケーション / 問題分析 / 創造的思考 / 行動力 / リーダーシップ				
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
<p>研究とは、世の中にまだ答えがない課題を解くことです。自然科学研究に用いる思考法は、様々な課題解決に活用できます。そこで本セミナーでは、講義と演習を通して研究思考の訓練を行い、まだ答えがない課題を解いていく練習を行います。</p> <p>自然科学研究では、問題を分析して課題を抽出し、様々なアイデアを出して、結果が出るまで試行錯誤を繰り返します。そして、自分一人で解決できない時に、他者の協力を引き出すためにコミュニケーションを取り、皆の-effort を目標に向けてまとめていくリーダーシップを発揮して、「世界初」を目指します。</p> <p>この「コミュニケーション、問題分析、創造的思考、行動力、リーダーシップ」という5つのスキルは、自然科学研究にとどまらず、どの分野にも適応可能です。今後の学生生活や卒後の社会生活全般において活用できるこれらのスキル・概念を、受講生に修得してもらうことを目的としています。</p> <p>そこで本セミナーでは、これらの5つのスキルについて、講義と演習を通して学びます（実験は行いません）。自分が解消したい課題や身近な困りごとなど、各自が主体的に設定するテーマに対して、各回で学んだスキルを適用して練習してもらいます。問いのない答えを解くために、自然科学研究の思考法を活用したいは、理系・文系を問わず歓迎します。</p>					
<b>[Course objectives]</b>					
<p>研究思考に必要な各スキルの概要を理解する。 課題を主体的に解決するために必要な考え方を養う。 様々な課題に対して、あらゆる角度から考察し、建設的に議論できるようになる。</p>					
<b>[Course schedule and contents]</b>					
<p>テーマA～Dは、初回は情報提供、2・3回目は学生発表に基づくディスカッションを行います。最後のテーマEは、情報提供のみとします。 最終回は、全体の総括としてフリーディスカッションを行います。</p> <p>(A) コミュニケーション【3回】 伝え方（聞き手の意識、分かるとは、分かってもらうための準備） 聞き方（聞き方の意義と種類、尋ね方）</p>					
Continue to ILASセミナー：研究思考による課題解決(2)					

**ILASセミナー：研究思考による課題解決(2)**

**(B) 分析法【3回】**

問題解決の過程（課題発見、情報の収集と吟味、分析、仮説構築）

**(C) 創造性【3回】**

創造のプロセス、必要な要素、セレンディピティ

**(D) 行動力【3回】**

モチベーションの種類、目標設定、始める準備、やり抜くコツと捉え方

**(E) リーダーシップ【1回】**

模範的リーダーシップ5つのポイント、リーダーへと成長するためのステップ

**(F) 総括【1回】**

A～Eのセッションで出てきた課題に対するフリーディスカッション

**(G) フィードバック【1回】**

**[Course requirements]**

None

**[Evaluation methods and policy]**

出席したうえでのディスカッションへの積極的な参加（60点）およびプレゼン内容（各10点×4回＝40点）により評価する。

**[Textbooks]**

教科書は指定しない。

各テーマの初回に配布するプリントを資料として、セミナーを進める。

**[References, etc.]**

**(References, etc.)**

Introduced during class

各テーマの講義の際に、参考文献の情報を適宜提供する予定です。

**[Study outside of class (preparation and review)]**

各テーマの講義前の予習は不要です。各テーマの情報提供の後に、他の人たちとのディスカッションの題材となる発表を準備してもらいます。

また、学んだことを身につけるために、自主的な復習を「自学自習」の一環として推奨します。

**[Other information (office hours, etc.)]**

オフィスアワーは適宜とする（担当教員のスケジュールが流動的なため）

連絡方法は、メールを想定しています。

提供された情報を、各自が興味がある題材に対して用いて、発表・質疑をたくさん行うゼミです。他の参加者の発表内容に対しても、積極的にディスカッションする意欲のある人を歓迎します。

発表は、PowerPointを準備してもらいます。